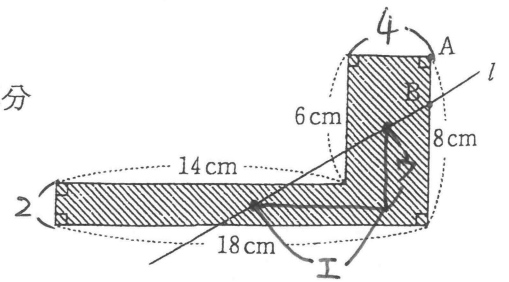






右の図の直線  $l$  は、斜線部分を面積の等しい3つの部分に分けている。ABの長さは  cm である。


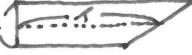


全体の面積は  $8 \times 4 + 2 \times 14 = 60 \text{ cm}^2$

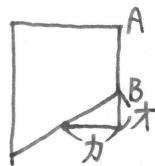
3等分すると  $60 \div 3 = 20 \text{ cm}^2$

たとえば  という台形があったとすると、 とすれば  となり、たては  $5 \text{ cm}$ 。

 のアの長さは、いつでも  $5 \text{ cm}$ 。

同じように考えて、 の場合も  の長さは  $20 \div 2 = 10 \text{ cm}$ 。

ウは、 $8 - (5 + 1) = 2 \text{ cm}$  で、エは、 $18 - (10 + 2) = 6 \text{ cm}$ 。ウ:エ =  $2:6 = 1:3$



とすると、オ:カも  $1:3$  で、カ =  $2 \text{ cm}$  なので、オ =  $\frac{2}{3} \text{ cm}$ 。

$AB = 5 - \frac{2}{3} = 4\frac{1}{3} \text{ cm}$ 。